

レジメン名	CDDP+ETP (VP16)	CDDP(1)+ETP(1,2,3) 【q21d】
がん種又は疾患名	小細胞肺癌	

承認されたレジメン	承認されたカスタマイズの範囲
0日目(レジメンシステムでは1病日表記)	
<本体1> YDソリタT3 500mL 100分	300mL/時(約100分)で注入 前日ハイドレーション
<本体2> YDソリタT3 500mL 100分	300mL/時(約100分)で注入 前日ハイドレーション
1日目(レジメンシステムでは2病日表記)	
<内服> イメンドカ [®] セルセット 1枚 初日 実施の1時間以上前に内服 2~3日目 朝食後内服	
<本体1> YDソリタT3 500mL 100分	前投与の水負荷は他のIVH等でも代用できる 300mL/時(約100分)で注入 水負荷の前投与は最低500mLとする
<本体2> デキサメタゾン 9.9mg アロキン 1A 生食 100mL パロノセトロン0.75mg/50mL 1袋30分	ステロイドは省略してはいけない アロキンは他の5HT3拮抗薬に変更してもよい 5HT3拮抗薬は省略してはいけない
<本体3> エトポシド 100 mg/m ² 5%ブドウ糖 500mL 120分	250mL/時(約120分)で注入 エトポシド濃度が 0.4mg/mL 以下になる輸液量とする
<本体4> 生食 500 mL 100分	300mL/時(約100分)で注入
<本体5> シスプラチン 80 mg/m ² 生食 500 mL 120分	全量500mLに調節 (CDDP量に合わせて生食を抜く)
<本体6> マンニトール 200mL 30分	400mL/時(約30分)で注入
<本体7> YDソリタT3 500mL 100分	300mL/時(約100分)で注入
<本体8> YDソリタT3 500mL 100分	300mL/時(約100分)で注入
<本体9> パリンNa [®] ク用シリンジ 10mL1筒	ロック用
2日目・3日目(レジメンシステムでは3, 4病日表記)	
<本体1> デキサメタゾン 6.6mg 生食 100mL 30分	ステロイドは経口に変更してもいいが、省略してはいけない 4日目以降のステロイドは必要に応じて投与する (注射または経口投与)
<本体2> エトポシド 100 mg/m ² 5%ブドウ糖 500mL 120分	250mL/時(約120分)で注入 エトポシド濃度が 0.4mg/mL 以下になる輸液量とする
<本体3> YDソリタT3 500mL 100分	300mL/時(約100分)で注入
<本体4> パリンNa [®] ク用シリンジ 10mL1筒	ロック用